

米国の未臨界核実験に抗議する決議

米国は、2019年2月にネバダ州の核実験場において未臨界核実験を実施したことをこのほど明らかにした。

本市議会は、2012年また2018年に同様の核実験が実施された際にも厳重な抗議を行ってきたところである。

国連では2017年7月、核兵器禁止条約が採択され、恒久平和の実現に向け世界が大きな一歩を踏み出したやさきに、核兵器廃絶を先導すべき米国が、北朝鮮に非核化を迫りながらも、みずからが核実験を実施したことは、まことに遺憾である。さらに米国は、中距離核戦力全廃条約（INF）からの離脱さえ表明している。

被爆国である我々日本国民は、この事態を到底容認することはできない。平和都市宣言を行っている東大和市民を代表して、今後一切の核実験を中止するよう厳重に抗議するとともに、「核兵器のない世界」の牽引役として、世界平和へ向けた取り組みに邁進されるよう強く要請する。

（議決日）令和元年6月27日

（送付日）令和元年6月28日

（送付先）駐日米国大使